

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
内科 呼吸器科 循環器科	初診	1 荒木	井上	水野	石田	中川
		2 宮澤	岡本	石原	白神	河川
		3 中川【内】	水木【内】	能祖【内】	植松【内】	荒木【内】
		4 白神【内】	高山【内】	河村【内】	岡野【内】	植木【内】
	再診	5 石田【内】	荒木【内】	岡本【内】	水野【内】	河村【内】
		6 岩本【呼】	河村【内】	宮澤【呼】	野田【内】	石田【呼】
		7 井上【循】	嶋谷【循】	河越【循】	井上【循】	有吉【内】
		8 石原【循】	栗栖【循】	端【循】	嶋谷【循】	光波【循】

【内】：内科 【呼】：呼吸器科 【循】：循環器科

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
外科	1	高倉	二宮	大野	高倉	二宮
	2	松垣	小野田	塩崎	松垣	小野田
	3	原野	梅岡	佐々木	原野	青木

※ただし、水曜日は、松垣14:00～予約のみ診療有り

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
呼吸器外科	1	妹尾	—	松浦	片岡	妹尾
心臓血管外科	1	柚木	大庭	—	久持	吉田

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
整形外科	初診	曾田	中村	西川	大石	石井
	再診	西川	大石	石井	曾田	中村

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
リウマチ科	初再診	山西	山西	—	山西	山西

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
形成外科	1	身原	木村	佐藤	身原	木村
	2	—	佐藤	—	佐藤	—
	3	—	身原	—	岩淵	—
	午後 (予約制)	—	言語外来 レーザー	義眼眼科外来	レーザー 学童予約外来	—

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
脳神経外科	1	真鍋	浅野	目黒	西野	廣常
	2	寺田	目黒	浅野	寺田	真鍋
	脳ドック※	—	西野	—	目黒	—

※9:30～10:30

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
小児科	1	伊予田	岡崎	伊予田	村尾	伊予田
	2	村尾	小川	中川	小川	村尾
	3	鎌田【循】	小池	鎌田【循】	中川【循】	木口【循】

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
小児外科	4	高田	—	今治	高田	—

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
専門	未熟児 林谷	未熟児 野村	—	(午後) 乳児健診	未熟児 中田	—

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
産婦人科	初診	吉田(信)	野間	吉田(信)	伊藤	吉田(信)
	初再診	小坂	吉田(孝)	菊池	橋本	神余
	産科	橋本	神余	伊藤	野間	吉田(孝)
	婦人科	野間	伊藤	神余	吉田(孝)	橋本
	不妊※	—	伊藤	—	伊藤	—

※午後

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
皮膚科	初診	戸井	山田	戸井	山田	戸井
	再診	山田	戸井	山田	戸井	山田
	再診※	—	江草	江草	江草	—

※9:30～

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
泌尿器科	初診	荒巻	三枝	谷本	井口	上杉
	再診	井口	上杉	荒巻	三枝	荒巻

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
耳鼻咽喉科 頭頸部外科	初診	井口	江草	綾田	久山	13:55/綾田 24週/江草
	再診	綾田	久山	江草	井口	13:55/江草 24週/綾田
	午後	アレルギー外来	14:00～14:30	江草	—	—
	副鼻腔外来	14:30～15:00	綾田	13:5週	—	—
	中耳炎・難聴外来	14:00～15:30	井口	24週	—	—

※10:30～

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
眼科	1	原	—	原	原	黒田
	2	岡野内	岡野内	橋本	—	岡野内
	3	黒田	黒田	山根	山根	山根
	斜視	—	—	山根	山根	山根

※ただし、火・木曜日の受付時間は午前10時までです。

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
神経内科 精神科	1	好永	好永	佐々木	神崎	和田
	2	清水	日域	清水	日域	神崎
	3	佐々木	和田	神崎	好永	佐々木
	4	日域	清水	上利	波田	清水
	5	※上利/波田	波田	和田	和田	上利

※隔週

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
放射線科	午前	影本	影本	榎本 浦島	榎本	影本
	午後	榎本 浦島	影本	榎本	榎本	影本
	診断	全日受付:浦島・西原・松浦・本山・中村・福山				

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
ペインクリニック		多田	—	武藤	—	随時変更

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
歯科 歯科口腔外科	初診	中野	澤木	中野	佐藤	金 澤木
		中野	澤木	中野	澤木	澤木
	午前	澤木	鄭	澤木	鄭	澤木
	再診	鄭	佐藤	鄭	佐藤	鄭
	午後	佐藤	—	—	佐藤	—

各診療日の担当医師につきましては、医師の異動等により変更させていただく場合がありますので、ご了承ください。

かがやき

No. 2

編集・発行………
広島市立広島市民病院
〒730-8518 広島市中区基町7番33号
TEL 082-221-2291 (代表) FAX 082-223-5514
HP http://www.city-hosp.naka.hiroshima.jp/

より便利に快適に～広島市民病院の増改築工事について～



病院長 岡崎 富男

新しい時代に対応した医療環境を整備

広島市民病院は昭和27年に国によって設立され広島市が運営してきました。その後、昭和51年に西棟と外来診療棟、平成4年に中央棟を整備するなど施設の拡充や医療機器等の整備充実を図ってきました。しかしながら、開院以来の施設が残るなど、施設の老朽化・狭隘化により、患者さまの療養環境の悪化や災害拠点病院としての病院機能の不備を招いています。また、外来診療部門も建築当時(昭和51年)より外来患者数が大幅に増え、待合室や診療室も狭くなり、患者さまのプライバシーを守ることが難しくなっています。こうしたことから新しい時代における医療需要への対応を目的とした増改築整備を進めるために、平成10年度に整備基本計画を策定、平成15年10月に新棟建設工事に着手しました。

増改築整備事業では、現在の施設内で診療行為を継続しながら、病棟の建替え及び既存棟の改修を進める計画としており、平成18年3月完成予定の新棟建設工事では、1～4階に外来診療部門を、5～9階に病棟部門、10階には診療情報

部門、11階には水害時対策として電気室等の機械室を配置し、屋上にはヘリポートを建設することになっています。その後、既存の西病棟、玄関棟及びサブライセンターを改修し、不足している駐車場の整備と病院の主要動線となるプロムナードの建設をすることにしており、すべての工事が終了するのは平成20年3月の予定です。プロムナードは、自然光を採り入れた明るい3層吹抜け空間で、アスタムライン県庁前駅から地下道により直接病院内に入ることができます。また、屋上には庭園が設置され、患者さまの憩いの空間となります。

工事期間中、何かとご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

基本理念

広島市の中核病院として、患者さまの立場を尊重し、質の高い医療を提供します。

…… 基本理念実現のための3つの柱 ……

1. 患者さまの立場を尊重し、信頼され満足される医療を提供します。
2. 地域医療機関との連携のもとに、急性期医療を中心に高度な医療を提供します。
3. 健全な病院運営に努め、良質で安全な医療を提供します。



外来診療のご案内

診療受付時間

午前8時30分～午前11時00分
* [眼科] 火曜日・木曜日 午前10時00分まで

休診日

土曜日、日曜日、祝祭日、8月6日
年末年始(12月29日～1月3日)

紹介状持参のお願い

初診時、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合、保険診療費のほか1,570円のお支払いが必要となります。初診の際には、紹介状をお持ちください。

女性外来開設のお知らせ

広島市民病院では「女性特有の病気」や女性の「こころ」と「からだ」の悩みについて、安心して相談、受診できる女性外来を平成16年11月25日より開設しました。知識、経験豊かな女性医師が診察を行います。

診察日 毎月第2及び第4木曜日(8月6日及び祝祭日は除きます)

診察時間 15:00から17:00(お一人30分程度) **診察場所** 外来診療棟3階

受診方法 完全予約制です。専用電話にてご予約ください。☎ 082-221-2380
【受付時間】 14:00から17:00(土・日曜日、祝祭日、8月6日、12月29日から翌年1月3日を除きます)

初診患者さまが対象ですが、以後の診察や専門の診察が必要な場合は、患者さまのご希望を伺いながら、院内の診療科や他の医療機関を紹介いたします。また、プライバシーに配慮し、リラックスした雰囲気でお受診できるように環境も整えています。



診療科レポート 外来診療棟1F

外科



食道、胃、大腸、肝臓胆膵臓、乳腺。
それぞれの領域で専門性を極めた
スタッフが高度医療の提供を
可能にしています。

ハイレベルな専門医を配置しチーム医療を実践

私たち外科の医師スタッフは17人です(写真1)。これに卒業後1、2年目の研修医が研修に加わります。

外科診療における専門化の進展は目覚ましく、全国のトップレベルの技術を培い維持する



(写真1) 外科スタッフ

ためには、従来のようにひとりであらゆる領域に対応するのは困難であり、チームとして医療を行う体制をとっています。

スタッフはこれまでの修練で身につけた外科の各領域の治療をこなす技術を基礎として備え、主に食道、胃、大腸、肝臓胆膵臓、乳腺の各専門領域を分担して受け持つ体制をとっています(写真2)。



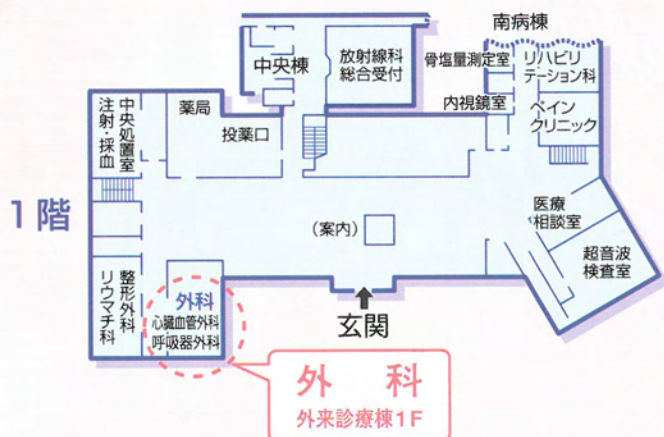
(写真2) 領域別責任者
左より、大野(食道:手術室主任部長)、二宮(胃:外科主任部長)、高倉(肝臓膵:副院長)、松垣(乳腺:外科部長)、小野田(大腸:外科部長)

各領域とも技術的に全国のトップレベルにあるものと自負しています。

術前の準備、術後のフォローも大切な仕事

外科は手術をする科として理解されている方も多いと思いますが、実際は全体の診療の中で手術はごく一部の存在です。まず、手術に備えて治療をする臓器だけでなく、全身の臓器の精密検査をします。さらにデータに基づき手術をすべきかどうか、するとすればどのような手術が最も適切を討議します。

スタッフは診療、検査、手術などで日中に集まることができないため、火・木・金曜日の午前7時半から会議を行っています(写真3)。



火曜日は、抄読会と称して話題の論文を読み合わせ、最新の医学知識を学びます。木曜日は、翌週に行う手術の方法を検討し、金曜日は、手術後の報告及び検討会を行います。時には手術後に合併症が起こることもあり、木曜日の午後5時から会議を開き全員で討議を行います。この会議には外科病棟の看護師も参加して看護師の視点からの意見を述べてもらい、患者さまの病状を総合的に捉え、よりよい解決策を決めます。この他にも各領域別に小グループ会議を行っています。



(写真3) 早朝カンファランス風景

最高水準医療を目指し日々研鑽

手術をはじめとした医療技術において中核病院としての名に恥じない最高水準の医療を目指しています。さらに、学術活動の中であえて批判を受ける立場に身を置き、私たちの技術と知識におごりがないように点検、矯正を行い、広島から新しい治療方法を全国に向けて発信できるように昼夜、臨床と臨床研究業務に鋭意努力しています。

ましごと 拝見! WORK

●部門紹介● チーム医療のコーディネーターとしての役割を担う

看護部

病院の目標が達成できるよう、また患者さまのニーズに添った医療看護が提供できるよう頑張ります。

当院看護部では「患者さま・ご家族の方に安心していただける看護を提供します」という重点目標を掲げ、一丸となって看護業務に取り組んでいます。

感染対策や医療安全対策、褥瘡対策など、院内各部署と連携した各種の委員会があり、具体的な実践を行っています。

社会の変化、医療の進歩に伴い、看護にもより深い専門的知識や優れた技術が必要となり、「認定看護師制度」ができました。当院では、「創傷・オストミ-

平成16年度
看護部重点目標
患者さま・ご家族に
安心していただける
看護を提供します。

(人工肛門)・失禁看護認定看護師」が2名と「救急看護認定看護師」が1名います。今後、「糖尿病看護」などの分野で、専門教育を受け、実践を積んだ認定看護師が誕生しようとしています。

院内では、呼吸療法や体位を変える技術などを学ぶ研修グループを作り、研修で学んだことを実践に活かす活動が、活発に行われています。

次号では、その活動状況を紹介します。



看護部長室スタッフ
前列左より、川島(看護部長)、山本(副看護部長)
後列左より、矢野、賀中、山本、栗原(副看護部長)

すこやかな毎日を応援!

健康

ワンポイントアドバイス

服用時間は大切です。



せっかく病院で薬をもらっても、使用方法が正しくなければ効果が弱まったり、逆に強くなりすぎて副作用が起きる場合もあります。薬の入っている袋(薬袋)に書いてある「毎食後」や「食前」などの服用時間はとても大切です。指示通りに飲むよう、気をつけましょう。

...薬剤部...



「食後」とは?

食事の後30分以内のことを指しています。食後でないとも効果がありません。飲み忘れ防止や胃への負担を和らげるために多くの薬が食後指示です。



「食前」「食直前」とは?

食前は食事前30分以内、食直前は食事前15分以内を指すことが多いです。糖尿病の薬の一部に、特に食後の高血糖を抑えるものがあります。これを食前30分に飲むと食事前に低血糖を起こす可能性があります。また、逆に食後に飲んで効果がありません。このような薬は食直前が正しい服用方法です。

他にも「食間(食後2時間)」等、いろいろな飲み方があります。薬袋に書いてあることでご質問がありましたら、お気軽に薬剤師にお問い合わせください。

医療連携シリーズ

2

地域社会の医療ネットワークづくりをめざして

医療連携室 Q&A

Q1 できるだけ早期に入院したいのだけど

医療連携室では、外来通院の患者さまだけでなく、入院の患者さまのサポートも行っています。これまで、

入院予約から入院していたくまでの間長くお待ちせする場合があります。

医療連携室では、当院全体のベッドの使用状況を常に把握して、患者さまが早期に入院できるよう院内の調整を行っています。もちろん、緊急の場合には、当日入院していただける体制になっています。



Q2 退院に際するサポートは?

退院に際しても、できるだけ患者さまとご家族の希望に沿った、しかも病状に合った適切な退院の方法について考えています。その際、主治医の意見を聞きながら、必要があれば医療福祉の専門家の意見も聞きます。場合によっては、他院の医師やかかりつけ医と相談するなどきめ細かい対応を心がけています。また、自宅の近くなどへ転院を希望され



る患者さまのために、患者さまのご要望に沿った医療機関等をご紹介することができるよう、日頃から他の医療機関等の先生方と話し合う機会を設けたり、近隣の医療機関等の見学も行っています。